2023年度 環境経営レポート

対象期間：
(2023年1月～2023年12月)

発行日 2024年1月31日
更新日 2024年4月19日

株式会社倉嶋自動車商会

ロゴあいさつ

自動車社会が成熟するに従い、自動車が環境に及ぼす影響が大きくなっており、自動車整備・販売に携わる事業者として環境にやさしい整備工場を目指す事は最重要課題と認識しております。整備工場運営面では、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減に取り組めます。また、適正な車検整備、エコ整備の普及・促進を通じて、燃料消費率向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化により社会に貢献します。企業のあらゆる活動面で、地球環境及び地域環境の保全に配慮して行動します。

株式会社 倉嶋自動車商会
代表取締役倉嶋 雅義

株式会社 倉嶋自動車商会 環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、経営理念に基き、自動車整備・販売等の事業活動において、環境汚染から地球環境を守るために、エネルギーの削減、CO2の削減等環境負荷の低減を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境経営の継続的改善や環境保全活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - ① 自社での電力消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
 - ② 自社での燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
2. 資源の有効利用のため、廃棄物の削減及びリサイクルに取り組めます。
 - ① 事務所で的一般廃棄物の削減と分別廃棄に努めます。
 - ② 自動車整備業務に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効利用に努めます。
3. 水資源の有効利用のため、水使用量削減に取り組めます。
 - ① 自動車整備業務の洗車・工場清掃時に使用する水の削減に努めます。
4. 地球環境保全のため、自動車整備において環境に配慮した整備に取り組めます。
 - ① 自動車の「環境配慮整備」に努めます。
 - ② リサイクルパーツの活用に努めます。

これらについて環境経営目標・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努めます。

5. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
6. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定 平成20年10月1日
改定 令和3年1月31日

代表取締役 倉嶋雅義

□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
株式会社 倉嶋自動車商会
代表取締役社長 倉嶋 雅義
- (2) 対象範囲及び所在地
本社(アップル車検クラシマ): 静岡県焼津市八楠 4丁目9番地の10 指定番号 名指673号
マツダオートザム焼津: 静岡県焼津市八楠 4丁目3番地の1 指定番号 中指第8444号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 倉嶋雅義 mantan0218@snow.ocn.ne.jp [tel.054-627-2255](tel:054-627-2255)
担当者 本社(アップル車検クラシマ) 工場長 池田 亨司
マツダオートザム焼津 店長 倉嶋 雅義
エコアクション21事務局 倉嶋 晴美
- (4) 事業内容(認証・登録の範囲)
自動車の修理・整備及び販売
- (5) 事業の規模

	本社	マツダオートザム焼津
全従業員	15名	11名
延床面積	299.52㎡	536.53㎡

- (6) 事業年度 1月～12月

□過去3年間中期環境経営目標及びその実績

年 度	単 位	2016年	2018年		2019年		2020年	
		基準年変更 2016年度 基準値	(目標) 基準年度比	(実績) 目標対比	(目標) 基準年度比	(実績) 目標対比	(目標) 基準年度比	(実績) 目 標対比
電力の二酸化炭素 排出削減	排 kg-CO ₂	45,366	43,551 96%	50,601 116%	43,098 96%	43,446 101%	42,644 94%	42,325 99%
燃料の二酸化炭素 排出削減	排 kg-CO ₂	50,655	48,629 96%	45,027 93%	48,122 63%	34,799 72%	47,616 63%	32,168 68%
ガソリン	kg-CO ₂	30,428	29,211 96%	27,399 94%	30,000 99%	22,560 75%	30,000 96%	20,891 70%
	軽油	10,042	9,640 96%	11,463 119%	11,572 115%	7,694 66%	11,066 110%	6,564 59%
	灯油	3,832	3,679 96%	0	0	0 100%	0 0%	0 0%
	都市ガス	6,353	6,099 96%	6,165 101%	6,550 96%	4,545 69%	6,550 103%	4,713 72%
二酸化炭素排出量 合計	kg-CO ₂	96,021	92,408 96%	95,628 103%	91,220 95%	78,245 86%	90,260 94%	74,493 83%
一般廃棄物の 削減	kg/年	1,500	1,440 96%	1,770 123%	1,440 96%	1,560 108%	1,440 96%	1,360 94%
産業廃棄物の	kg/年	7,200	6,912 96%	7,100 103%	6,912 96%	7,100 103%	6,912 96%	5,160 75%
水使用量削減	m ³ /年	1,102	1,058 96%	1,063 100%	1,058 96%	1,157 109%	1,058 96%	986 93%
自動車リサイ クル部品の活	千円/年	3,750	4,125 110%	4,313 105%	4,125 110%	1,782 43%	4,125 110%	1,383 34%
環境配慮の整	台数/年	923	1015 110%	1,029 101%	1015 110%	1,140 112%	1015 110%	1,116 110%

※ 購入電力のCO₂排出係数は、中部電力2015年度調整後0.482 kg-CO₂/kWh を使用している。

□2021年度以降の中期環境経営目標

年 度	項目	単位	2020年	2021年		2022年		2023年	
			基準年変更 2020年度 実績値 (基準値)	(目標) 基準年度比	(実績) 目標対比	(目標) 基準年度比	(実績) 目標対比	(目標) 基準年度比	(実績) 目標対比
	電力の二酸化炭素 排出削減	kg-CO ₂	42,325	41,825 98.8%	42,640 102%	41,325 97.6%	45,592 110%	40,825 96.5%	45,302 111%
	燃料の二酸化炭素 排出削減	kg-CO ₂	32,168	31,799 99.0%	29,383 64%	31,525 98.0%	27,471 87%	31,203 97.0%	30,244 97%
	ガソリン	kg-CO ₂	20,891	20,640 98.8%	21,394 104%	20,473 98.0%	19,770 97%	20,264 97.0%	22,282 110%
	軽油	kg-CO ₂	6,564	6,503 99.1%	3,250 50%	6,433 98.0%	3,018 47%	6,367 97%	4,031 63%
	灯油	kg-CO ₂	0	0		0	0	0	0
	都市ガス	kg-CO ₂	4,713	4,656 98.8%	4,739 102%	4,619 98.0%	4,683 101%	4,572 97.0%	3,931 86%
	二酸化炭素排出量 合計	kg-CO ₂	74,493	73,624 98.8%	72,023 98%	72,850 97.8%	73,063 100%	72,028 96.7%	75,546 105%
	一般廃棄物の 削減	kg/年	1,360	1,340 98.5%	1,130 84%	1,320 97.1%	1,260 93%	1,300 95.6%	1,200 92%
	産業廃棄物の 削減	kg/年	5,160	4,954 96.0%	6,460 130%	4,950 95.9%	7,150 139%	4,900 95.0%	5,670 116%
	水使用量削減	m ³ /年	986	947 96.0%	979 103%	940 95.3%	1,255 127%	930 94.3%	1,341 144%
	環境対応車の 販売	台数/年	183	190 103.8%	146 77%	192 104.9%	137 75%	195 106.6%	120 62%
	環境配慮の整 備促進	台数/年	1,116	1,228 110.0%	1,136 93%	1,235 110.7%	1,061 95%	1,250 112.0%	1,075 86%

※ 購入電力のCO₂排出係数は、中部電力2015年度調整後0.482 kg-CO₂/kWh を使用している。

□環境経営計画と取組結果とその評価

2023年 1月～2023年12月 の評価

2023年度の活動計画	達成状況		単位 基準年度比	評価	(結果と次年度の取り組み内容)
二酸化炭素の総排出量	2023年度 目標	72,028	97%	×	目標未達成
	2023年度 実績	75,546	105%		猛暑による電気消費増
電力の削減 ・節電運動展開 ・不要照明の消灯 ・クールビズ運動 ・設備の空運転防止 ・冷房28℃、暖房20℃	2023年度 目標	40,825	97%	●	目標未達成
	2023年度 実績	45,302	111.0%		空調機運転時間の増加、塗装ブース運転時間増加 毎月開催のEA21会議で今後もチェックする
自動車燃料の削減 ・アイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・燃費のよい車の購入（更新時）	2023年度 目標	31,203	97%	○	目標達成
	2023年度 実績	30,244	97%		代車の有料化、最新の車両へ変更 車検作業の効率化
一般廃棄物の削減 ・裏紙使用 ・ミスコピーの防止 ・分別による古紙のリサイクル ・帳簿見直しによる印刷物の削減 ・両面印刷用プリンターの購入	2023年度 目標	1,300	96%	◎	目標達成
	2023年度 実績	1,200	92%		ペーパーレス化の取組が進んできた
産業廃棄物の削減 ・社内での再使用 ・リサイクル先の開拓 ・工程ロスの削減 ・分別回収 ・作業工程の改善	2023年度 目標	4,900	95%	●	目標未達成
	2023年度 実績	5,670	116%		分別回収により回収コストを抑える 交換しないで修理する技術的な研究を進める
水使用量削減 ・水使用量削減の呼びかけ ・節水弁の取り付け ・自動水弁の取り付け ・雨水利用による植木の水やり ・洗車、工場清掃時の 水使用量削減	2023年度 目標	930	94%	●	目標未達成
	2023年度 実績	1,341	144%		工場人員が増員された結果、有料洗車が増えた。マツダオートザム店舗の漏水検出、修復対策計画推進。
環境対応車の販売 ・対象リストの作成 ・客先へのPR	2023年度 目標	165	107%	●	目標未達成
	2023年度 実績	120	62%		コロナ禍で納期、半導体不足、来店客の激減等により、大幅な未達。
環境配慮の整備促進 ・パンフレットの作成 ・客先へのPR ・エコ整備エコ車検 ・タイヤ空気圧	2023年度 目標	1,250	112%	●	目標未達成
	2023年度 実績	1,075	86%		整備促進のためのPR活動成果が浸透せず目標未達。パンフレットによる顧客への入庫説明を促進。SDGsの宣言。 顧客へのPR効果フォローアップ

総括評価コメント

- ・エコアクション会議を毎月開催し、各項目のチェックを行っている。
- ・低燃費車とクリーンディーゼル車の普及に努めたが、新型コロナウイルスの影響で販売減となった。
- ・都市ガスは、塗装業務増加によるブースの利用が増えた。排気送風機運転時間増による電力消費増加。
- ・代車使用増加した燃料費を企業努力と節約志向により圧縮していく。
- ・リサイクル部品の使用を積極的に進めたが、部品数減と部品価格上昇により、見合った修理ができなかった。また、廃棄部品が増え、産業廃棄物の排出量が増加した。・水使用量の増加因として漏水発生、修復対策計画推進。
- ・エコアクションの周知とSDGsとの関係を整理して、SDGsの宣言を行う。

- ◎ 目標に対して、5%以上達成
- 目標に対して、3～5%達成
- △ 目標に対して、0～3%未達成
- × 目標に対して、3～5%未達成
- 目標に対して、5～10%未達成

□ 環境関連法規等の取りまとめと遵守評価

遵守評価者：倉嶋雅義

遵守評価日：2024年 1月31日

法規制の名称	該当する法規制内容	該当設備・項目	届出報告先 契約先	遵守評価	2012
				評価項目	評価
廃棄物 処理法	《一般廃棄物》 ・収集業者許可確認 ・委託業者との契約	・紙屑、木屑、その他	ヤマカ片野 2009.2.1	契約書	○
			マニフェスト 県知事報告 2021.6.28	管理 報告書	○
	《産業廃棄物》 ・委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守	・マニフェスト管理 ・廃ブラ、金属くず (アップル車検クラシマ) (マツダオートザム焼津)	山丈商事 2006.1.5	契約書	○
			山丈商事 2009.5.1	契約書	○
			一紅産業 2001.4.1	契約書	○
			紅産業 2004.9.1	契約書	○
	・汚泥	大進ゴム 2011.4.1	契約書	○	
	・廃油&エレメント				
・廃タイヤ					
産業廃棄物の 適正な処理に 関する条例	・産業廃棄物管理責任者の設置				
	・産業廃棄物処理委託先の実地確認	年一回実施記録を5 年間保存	記録		
自動車 リサイクル法	・解体業者への 適正な引渡	・引取自動車	業者との 契約	契約書	○
			マニフェスト 県知事報告 2021.6.1	管理 報告書	○
道路運送 車両法	・自動車整備士資格 ・保安基準の遵守	・整備工場	国土交通省	認証	○
消防法	・指定可燃物の届出 ・少量危険物貯蔵 ・少量危険物届出	・第四石油類 ・第二石油類	焼津市 消防本部 2009.2.20	届出	○
浄化槽法	・浄化槽の設置届出 ・法定点検の実施	アップル車検クラシマ マツダオートザム焼津	静岡県知事	年6回検査 年4回検査	○ ○
騒音規制法及び 振動規制法	・特定施設の届出 ・規制基準の遵守	アップル車検クラシマ コンプレッサー(7.5kw)以上	静岡県知事 2009.1.22		○ ○
		マツダオートザム焼津 コンプレッサー(3.75kw)以上	焼津市長 2009.1.22		○ ○
水質汚濁 防止法	・洗浄廃水濃度油分 調査	アップル車検クラシマ 油水分離槽 門型洗車機届出	油水分離槽	2022.2.4	○
			浄化槽検査	2022.2.4	○
		マツダオートザム焼津 油水分離槽 門型洗車機届出	静岡県知事 2010.4.19		○
			油水分離槽検査	2022.2.4	○
フロン排出 抑制法	・フロン類の適正処理 ・回収・破壊の確認	自動車のエアコン フロン類回収業登録 空調室外機の簡易点検	静岡県知事 2012.10. 18	報告書	○
				3ヶ月に1回	○
労働安全 衛生法	・アセチレンガス等溶接 ・塗装ブース等の設置届	塗装ブース 水性塗料使用	労働基準監督署	届出	○

環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

(適切性・妥当性・有効性の評価)

(定期見直し:毎年事業年度終了後)

実施日:2024年1月31日

代表者	管理責任者
倉嶋雅義	倉嶋雅義

見直しに必要な情報 (管理責任者の報告)				(管理責任者のコメント・提案) (代表者)	変更の必要性の有無・指示事項
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2024年1月31日に定期評価を実施した結果、遵守されている。 ②是正及び予防措置の状況 該当なし ③前回までの代表者の指示事項への対応				【環境方針】 節電 ペーパーレス化	【環境方針】 社員主導で6S運動を開始したので、社員が積極的に職場の環境改善を自主的に行うように 変更の必要性: 無
【目標・環境活動計画の達成状況】 (詳細は環境活動計画書による)				【目標・環境活動計画】 絶対値管理と並行して効率指標の管理に取り組む。	【目標・活動計画】 2024年度以降の中期環境経営目標や経営計画を策定する。基準年度は2023年度実績とする。 重点削減目標:・電力の削減・ガソリンの削減・水使用量の削減 変更の必要性: 有
目標項目	目標の達成状況	活動計画の実施状況	コメント		
電力の削減	●	●	更に推進		
ガソリンの削減	●	●	代車管理		
軽油の削減	◎	○			
灯油の削減	—	—			
都市ガスの削減	◎	◎			
一般廃棄物削減	○	○			
産業廃棄物削減	●	●			
水使用量の削減	●	●	漏水点検		
環境配慮の整備	●	●			
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より この1年間は周辺住民からの苦情や要望等はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 関連法規制等では、新規制定や改定したものはありませんでした。				【その他の環境経営システムの各要素】	変更の必要性: 無

株式会社倉嶋自動車商会 環境経営システム組織図

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・実施体制の構築 ・経営課題とチャンスをつまみ環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。 ・環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認。 ・環境経営レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック表及び環境への取組の自己チェック表の実施。 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境活動の取組結果を環境管理責任者経由し代表者へ報告
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境経営方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。